

J R 東労組全組合員の団結力で政権交代実現！

闘い抜き勝利した第 4 5 回衆議院議員選挙

第 45 回衆議院議員総選挙は怒れる労働者・市民の声が自公政権にノーを叩きつけ、民主党が 308 議席を獲得し大勝した。J R 東労組は全組合員の団結力で J R 東労組推薦候補者 65 名を当選させる快挙を実現し政権交代の一翼を担いきった。

今野東参議院議員は、この結果に対して「紙と鉛筆による民主的な革命が起きた」と高らかに民主党の勝利宣言を發した。

夏期輸送の繁忙期にも関わらず、長期におよぶ全組合員・ご家族、OB 会のご協力に、心より感謝申し上げる。

J R 東労組は、今選挙にあたり「全組合員の力で、自公政権に代わる民主党を軸とした政権を樹立しよう」「連合内の労働組合と共に、政権交代を勝ち取ろう」をスローガンに、自公政権によってズタズタにされた日本社会を変革するために、12 地本一体となって地域の仲間と共に取り組むことを意思統一し奮闘してきた。

4 年前の衆議院選挙において、小泉郵政改革を錦の御旗に大勝した自公政権は、その後圧倒的多数を得て悪政の限りを尽くした。アメリカ追従の憲法 9 条無視の自衛隊海外派遣を矢継ぎ早に行い戦争のできる国家へとその変貌をより促進させた。また一方では医療、年金などの社会保障の切り崩しによる弱者切り捨て、格差社会の拡大。そして規制緩和の名のもとに労働法制を改悪し派遣労働の適用範囲を拡大させた。また出口なく不況下の中、その派遣労働者をはじめとする非正規雇用労働者の切り捨てが横行した。今やその流れは正規社員まで及んでいる。さらに「平和・人権・民主主義」を守る労働組合、市民団体に対する不当な弾圧など自公政権の悪政は枚挙にいとまがない。それ故に、第 45 回衆議院選挙の結果は、労働者の悲痛な声を足蹴にした自公政権に対する労働者・市民の当然の審判とも言える。

だがわれわれは、この民主党の大勝利に酔いしれているわけにはいかない。闘いは、これからである。われわれの目的は、労働組合が労働組合らしく活動し、安心して暮らせる憲法を遵守した平和な社会を創ることである。今後、新たに発足するであろう民主党を軸とした政権は労働者の“団結権・生存権”を守り抜きえん罪のない社会をつくり、平和憲法を守り抜いていくものでなければならない。そのために、選挙活動でつくりあげた民主党・J R 東労組推薦議員との信頼関係をもとに連携を更に強めていかなければならない。

「えん罪 J R 浦和電車区事件」の上告審勝利！あらゆる弾圧をはね返し J R 東労組推薦議員と共にわれわれの目的実現に向け、中央・地方一帯となって邁進していこうではないか！そして、選挙戦で培った職場からの闘いを基礎に 09 秋の闘いの諸課題を実現しようではないか！

あらためて全組合員とご家族の皆さん、OB 会の奮闘にお礼と感謝を申し上げ、第 45 回衆議院選挙終了にあたっての中央執行委員会の見解とする。

2009 年 8 月 31 日
東日本旅客鉄道労働組合
中央執行委員会